



令和 8 年 2 月 19 日

『共有意思決定 (SDM)』

「Shared decision-making in medicine」を学ぼう！

「正解」のない選択を共に歩む

生殖・不妊相談における共有意思決定 (SDM) の実際 不妊・不育とこころの研修会をオンライン開催

◆発表のポイント

- ・医療の現場では、何をしたらもっともよい結果を期待できるかが不確実な状況（治療方法が確立していない、選択肢が複数あるなど）も多く、患者は常に多くの正解のない選択肢の中から選択を迫られ、悩み苦しみます。このような場合、医療スタッフは、多様化する患者さんの価値観にも配慮しながら、ともに意思を共有し、決定に寄り添う必要があります。その方法として、SDM（Shared decision-making）があります。
- ・現在、体外受精などの生殖補助医療で生まれる子どもは 8.5 人に 1 人となっています。不妊治療が身近なものとなっている今、うまく妊娠されない方も多く存在しています。このような不妊症のカップルや流産や死産を繰り返す不育症のカップルが、治療の「ステップアップ」、場合によっては「治療の終結」などの選択を迫られる場面では、医療スタッフも大きなストレスを抱えることとなります。
- ・今回、長く生殖医療の現場で、数多くの不妊症や不育症のカップルへのカウンセリングを担当し、ご自身で東京リプロダクティブカウンセリングセンターも開設した平山史朗先生に、「『正解』のない選択を共に歩む：生殖・不妊相談における共有意思決定 (SDM) の実際」と題して、講演いただきます。
- ・最後に Discussion の時間も設けています。日頃の疑問をぜひ、ご解決ください。

SDM (Shared decision-making) とは、患者と医療スタッフとが医学的な意思決定をするためのプロセスを支援する方法です。医療スタッフは患者に治療法やその代替候補を説明し、患者が自分の信念、置かれている社会的、文化的状況などに最も合った選択肢を選ぶよう支援します。患者と医療スタッフは、同じ健康問題や病気についても、異なる情報や視点を持っています。その両者が情報（価値観や意向）を持ち寄って、「今、何が問題なのか」、「何を目標に治療するのか」、「そのためにはどんな方法があるのか」、「それぞれがどんな役割を果たすのか」などを話し合い、決定に至るプロセスを共有していくことが SDM の中心となります。

治療の選択肢が確実な場合に医療スタッフが説明を行う『インフォームドコンセント』とは異なり、不妊症や不育症治療では、何をしたらもっともよい結果を期待できるかが不確実な状況（治療方法が確立していない・選択肢が複数あるなど）に当たるケースも多く、患者さんは常に多くの正解のない選択



PRESS RELEASE

肢の中から選択を迫られ、悩み、苦しみます。このような場合、医療従事者は、多様化する患者さんの価値観にも配慮しながら、ともに意思を共有し、決定に寄り添う必要があります。

今回の研修会では、厚生科学審議会生殖補助医療部会委員や、厚生労働省「不妊に悩む方への特定治療支援事業などのあり方に関する検討会」委員を歴任し、東京リプロダクティブカウンセリングセンター代表、東京 HART クリニックの生殖心理カウンセラー（臨床心理士・公認心理師）でもある平山史朗先生に、「『正解』のない選択を共に歩む - 生殖・不妊相談における共有意思決定（SDM）の実際」と題して、その理論と実践を解説していただきます。

『Zoom』を利用した公開セミナーのため、パソコン、スマートフォン、タブレットなどをお持ちでしたら、全国のどこからでもご参加いただけます。ぜひ、お気軽にご参加ください。

<開催概要>

1. 名 称 第 21 回不妊・不育とこころの研修会
『共有意思決定（SDM：Shared decision-making in medicine）を学ぼう！』
2. 日 時 2026年3月6日（金曜日）18：00～19：30 オンライン（Zoom）開催
3. 対 象 者 不妊治療や不育症治療（あるいは、その他の治療）を支援する医師、看護師、助産師、保健師、心理士、相談員、その他、関係者を対象
4. 申 込 方 法 事前申し込みが必要。
メール（josan@cc.okayama-u.ac.jp）にて、お名前、ご連絡先、ご所属を本文に明記してお送りください。締め切り：3月5日（木）12時まで（厳守）
※アドバンス助産師の更新申請に必要な参加証（選択研修）ご希望の方は、申込のメールに「アドバンス助産師参加証希望」とお書き添えください。
5. 参加費用 無料

<補足>

詳しい情報は、

岡山県不妊専門相談センター「不妊・不育とこころの相談室」ホームページ

URL: <https://www.cc.okayama-u.ac.jp/~funin/>

岡山大学大学院保健学研究科 中塚研究室ホームページをご参照ください。

URL: <https://www.okayama-u.ac.jp/user/mikiya/>



PRESS RELEASE

◆研究者からのひとこと

岡山県不妊専門相談センター「不妊・不育ところの相談室」を運営、不妊症・不育症、性別不合の診療・研究、中学・高校での包括的性教育などを行っています。

中塚研究室では、多くの研究者や学生がリプロダクションやジェンダーについて研究しています。気軽にご連絡ください。

<https://www.okayama-u.ac.jp/user/mikiya/>



岡山大学学術研究院保健学域 教授
岡山大学病院リプロダクションセンター センター長
中塚幹也

<お問い合わせ>

岡山大学学術研究院保健学域
教授 中塚幹也

岡山大学大学院保健学研究科
「妊娠中からの母子支援」即戦力育成プログラム事務局
(電話番号・FAX) 086-235-6538



岡山大学は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。